

## 北海道

### 1. 商品名等

商品名	りんごラムネ	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
	<p>2016(平成28年)に、本校商業クラブの生徒が、深川市をPRできる商品作りを目標に考えたところ、当時のご当地サイダーやラムネがブームであったことから、特産のりんごを使ったラムネができないかと考え、開発に至りました。</p> <p>果汁は深川市にある藤谷果樹園で収穫されたりんごを使用し、小樽市の野島製菓でラムネとして製造されています。市内の道の駅や各種物産展で販売され、年間約1万本を売り上げています。</p> <p>内容量 200ml 定価 220円(税込)</p>	

### 2. 学校紹介

学校名	北海道深川東高等学校	電話	0164-23-3561
住所	北海道深川市8条5番10号	FAX	0164-23-3562
担当者	川口 祐一	石田 みゆき	
URL	<a href="http://www.fukatoko.hokkaido-c.ed.jp/">http://www.fukatoko.hokkaido-c.ed.jp/</a>		
E-mail	fukatoko-z0@hokkaido-c.ed.jp		

本校は、旭川市から約30km南西に位置する深川市に設置された学校であり、昭和4年に深川町立深川高等女学校の設立認可を受けて以降、校名変更・男女共学・学科転換等を経て、農業科である生産科学科と商業科である総合ビジネス科の2つ職業学科を有する学校です。

総合ビジネス科は、「一人ひとり大切に学ぶ」「地域・社会で活躍する力をつける」「なりたい自分をかなえる」をコンセプトとし、特に地域との結びつきを大切にした諸活動に取り組んでおり、「課題研究」では地方が抱える様々な問題を調査・分析・考察し、解決策を提起する学習を行っています。この研究成果は内閣府主催の「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に毎年エントリーし、2020年には全国最終審査会まで進みました。その他にも近年では札幌学院大学主催の高校生ビジネスプランコンテストに出場し、2年連続で奨励賞を受賞しています。

### 3. 実施科目等

科目名	商業クラブ・課題研究など	単位数	3単位(課題研究)
対象生徒	商業クラブ部員など	担当教員数	2名

### 4. 予算関係(費用)

商品製造：連携企業負担

## 5. 開発経緯等

平成 28 年に本校商業クラブが深川市の PR と学校の PR を目的に、りんごラムネを企画するとともにポスターの作成やラベルのデザインを手がけ、果汁入りのラムネの製造実績のある小樽市の野島製菓に製造を依頼し、本校のオリジナル商品として商品化が実現しました。

平成 29 年 5 月より、深川市の藤谷果樹園よりりんご果汁の提供を受け、深川産のりんご果汁を使用したりんごラムネとして販売し、宣伝活動も積極的に取り組みました。メディアへの掲載として、北海道新聞社、北空知新聞社、STV「どさんこワイド朝」、FM AIR-G「IMAREAL」、月刊クォリティなどに取り上げていただきました。

販売実績として、初年度となる平成 28 年度には、高校生チャレンジオータム（さっぽろオータムフェスト）、商業教育フェア、ふかがわ街ぶらで販売活動を行うとともに、市内 3 か所での店頭販売により、年間約 1,400 本を販売しました。

2 年目となった平成 29 年度は、前年度の活動に加えて、道北最大のフードイベントである北の恵み食べマルシェ 2017 に出店するとともに、市内 3 か所での店頭販売により、前年度の 2 倍以上となる年間約 3,500 本販売しました。

現在では年間販売数が 10,000 本を超え、りんごのさわやかな酸味と甘みが好評で、幅広い世代に受け入れられる商品となっております。

商品ラベルは開発当時に作成されたもので、当初はラベルシールに印刷して、手作業で貼り付けていましたが、令和元年からはシュリンクタイプを採用しました。

## 6. 販売形態・期間

①  
・  
無

常時販売している店舗は 4 ヶ所で、道の駅ライスランドふかがわ、深川駅物産館、道の駅うりゅう、セイコーマート深川西町店にて店頭販売しています。

その他、バイヤー様を通じて物産展などの催事にて販売されることがあります。

## 7. 協力者等

①  
・  
無

製造者：野島製菓（小樽市） 0134-34-0777

販売元：深川駅物産館（深川市） 0164-26-2525

## 8. 商標登録の有無

有  
・  
無

## 9. 今後の課題・展望等

更なる販売経路の拡大や、授業を通じた販売促進活動の実践などを試みたいと考えています。